

# 先進事例 紹介

## ヤクルトレディーの防火PR

富山県 砺波地域消防組合消防本部

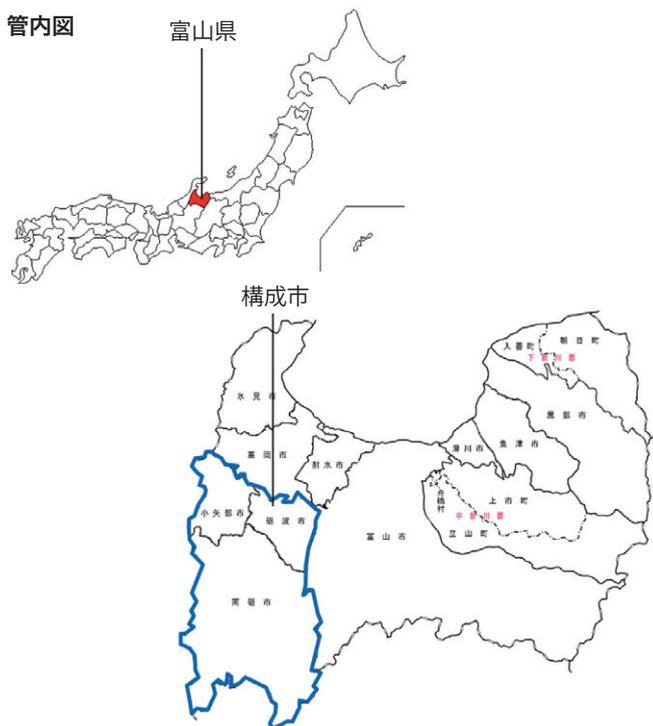
### 1 はじめに

砺波地域消防組合消防本部は、富山県の西部に位置し、砺波市、小矢部市、南砺市の3市で構成されています。管内平野部の水田地帯は、「かいによ」と呼ばれる屋敷林に囲まれた家々が点在する「散居村」という独特な集落景観を形成しています。また、南砺市の山間地域には日本の原風景を残した世界遺産の五箇山合掌集落、小矢部市には北陸地方初出店のアウトレットモールがあり、他にも春先に、無形文化遺産に指定された城端曳山祭や、となみチューリップフェアが実施されており、年間をとおし多くの観光客が来訪する地域となっています。



散居村風景

管内図



放水訓練（世界遺産 合掌造り）



となみチューリップフェア

### 2 火災予防への取り組み

全国各地において、春と秋に実施される火災予防運動では、様々な防火PRが実施されており、当消防本部管内においても、一人暮らし高齢者宅への防火診断をはじめ、防火広報の実施や、管内大型店舗にご協力をいただき火災予防運動期間中に配布される広告への防火標語等の掲示や消防訓練の合同実施、秋には、市内保育園児が描いた消防車の絵を掲示するなど、様々なPR活動を展開しています。

また、火災予防運動期間中以外にも、小矢部市津沢で、6月に実施される津沢夜高あんどん祭に、防火行燈を作成し消防庁舎前に展示したり、南砺市福光で、7月に実施されるなんと福光ねつおくり七夕祭り期間中に、市内保育園児にそれぞれ願いを込めた短冊を書いてもらい防火七夕に飾るなどして、管内市民へのPR活動を実施しています。



防火広報（津沢あんどん）

## 3 更なる防火PRの実施

火災を予防し、火災による被害を減らすことは、火災予防運動期間中に限らず、多くの方々に、常に「火の用心」を心がけてもらうことが必要であることから、防火のPRは、全国で様々な取り組みが実施されています。郵便局とタイアップしたPR活動や、地元企業と協力したPR商品の開発、新婚家庭への消火器の贈呈等が紹介されており、そのような全国の消防本部の取り組みを目にし、当本部においても更なる効果的な防火PRの方法を模索していました。

そんな中、消防庁舎で、いつも笑顔でヤクルトの販売をしてくださるヤクルトレディーが目に入りました。彼女たちは、ヤクルトの沢山入った保冷バックを持ち、市内のあらゆる事業所へ出入りし、多くの方々と顔をあわせ、笑顔で頑張っておられます。その笑顔に便乗し、保冷バックに火災予防運動実施中の表示をしてもらうことで、より広く、多くの方々に火災予防をPRできるのではないかと考えました。

管内のヤクルト販売営業所責任者に依頼したところ、前向き検討していただける旨の回答をいただき、その日のうちに営業所責任者が県内のヤクルト本社と協議し、その結果ご協力いただけることとなりました。

火災予防運動の期間を終えて、ヤクルトレディーの皆さんに効果はどうだったか、声を聞かせていただきました。多くの事業所の方や、老人ホームのお年寄りから次のような言葉をいただいたそうです。

「消防署に協力しているんだね、火の用心するね」

「火災予防運動期間中なんだね、気を付けるよ」

「火の用心、気をつけんなんね」

いずれも、防火PRが効果的であったことがわかる言葉で、さらにヤクルトレディーの皆さんからは、

「思った以上に反響があって驚いた」

「たくさんの方との話題になり、お客様と距離が縮まったように感じる」

「火災の予防に協力することができてよかった」

との言葉をいただくことができました。



防火広報（ヤクルトレディー出発）



防火広報（ヤクルトレディー事業所訪問1）



防火広報（ヤクルトレディー事業所訪問2）



防火広報（ヤクルトレディー個人宅訪問1）



防火広報（ヤクルトレディー個人宅訪問2）

## 4 おわりに

今回、ヤクルトレディーの皆さんによる防火PRを実施したところ、多くの方の目に触れ、また、協力いただいたヤクルトレディーの皆さんから反響があったと回答があったことから、PR活動が有効であったものと思われます。

昨今、法律の改正により、消防用設備設置の面から、被害を軽減するためのアプローチがなされていますが、有効な広報活動を実施することにより火災の被害を発生させない取組も必要であると思われます。当本部としては、今後も効果的・効率的な広報を検討実施し、市民の防火・防災意識の向上を図り、ひいては火災の減少に努めていきたいと思っております。